

令和5年度 地域ケア圏域会議 実施結果

高齢者あんしん相談センター ひだまりの庭

日時及び場所	参加者	討議内容(地域課題・対応・今後の課題など)
10月16日(月) 13:30～15:00 新河岸川河川 水防センター	医師 1名 町会長 1名 副町会長 1名 町会役員4名 民生委員 3名 介護支援専門員3名 生活支援コーディネーター1名 健康増進センター保健師1名 高齢者福祉課 1名 高齢者あんしん相談センター 5名 計 21名	「つながり活かして、はつらつ生活！」 《ケース概要》 70代男性。妻と二人暮らし。要支援2。腰痛がありデイサービスを利用。趣味のサークルに参加できなくなった。妻が認知症になり見守りが必要になった。本人の交流の機会が減少し、今後社会的に孤立してしまう恐れがある。 《対応》 自宅の周辺、公園、病院など人とのかかわりの場面での交流が有効。町内行事(祭り、豆まき、餅つきなど)の場を継続することにより交流の場とする。井戸端会議の活用。SNSを活用できる人がそれを地域に情報提供していく。 《今後の課題》 地域的に坂の下にあたるため外出範囲が制限されがち。高齢化率も高いのに、交通手段がない。行政への呼びかけが必要。高齢化による障害の理解を町会で進めていく必要がある。(閉じこもりや認知症など)
1月22日(月) 13:30～15:00 水谷東3丁目 集会場	医師 1名 名誉会長1名 町会長 1名 民生委員 4名 介護支援専門員 3名 生活支援コーディネーター1名 障がい福祉課1名 高齢者福祉課 1名 高齢者あんしん相談センター 4名 計 17名	「精神病の病識のない本人・家族のいる家庭とのかかわり」 《ケース概要》 79歳男性。障害介護ともに認定なし。本人に病識ないが、精神科への入院歴有。些細なことから激昂し何度も傷害事件を起こしている。動物の虐待、近隣住民への金銭の無心などたびたびトラブルがある。 91歳女性。視力障害とうつのある次男と同居している昔から正確に難があり、他者に対して攻撃的。加齢による認知力の低下も加わり、近隣住民とのトラブルをたびたび起こしている。 92歳女性。要介護2。本人は筋力低下程度で認知機能の低下はない。数年前から嫁ぎ先から娘が戻り同居となっているが、娘は精神疾患と思われる様子で、本人の介護の障害となっている。 《対応》 精神疾患のある方の中でも病識のない方への対応は非常に難しい。地域の方がかかると、過剰の負担がかかることも考えられる。現在行政でも相談機関の拡充を進めている。相談機関と地域住民の情報共有でしかるべきところにつなげていくことが必要。 《今後の課題》 対応機関の設置のニーズは高い。 地域と相談機関の連携が重要。現行の相談機関がうまく機能するために行政や保健所の支援も必要なのではないか。
3月26日(火) 13:30～15:00 水谷公民館 多目的ホール	医師 1名 町会長 1名 民生委員 6名 介護支援専門員4名 生活支援コーディネーター 1名 危機管理課1名 高齢者福祉課 1名 高齢者あんしん相談センター 3名 計 18名	「水谷第三町会における防災への備えについて」 《ケース概要》 危機管理課より地域の防災についての講話を聴いた。 町会長より町会の防災への備えについての現状や、課題についてのお話を伺った。 《対応》 危機管理課より、マイタイムラインについての説明があり、個々の状況に合わせた避難のプランニングの必要性についての説明があり有意義なものだった。 災害時には地域の支える側も被災者となり対応が困難になることが考えられる。個々の状況に合わせ備えられる災害に対しては対策をしておく必要がある。支援者たちのプランニングも重要。 町会としては共助としての支援を今後も深めていく。 《今後の課題》 今後も町会の場で話をする場を設け、継続的に議論をしていく必要があると考える。また今後は考えられる課題を踏まえ図上訓練などを行い具体的な対策の検討もしていく。